

<平成30年度主要事業>

小樽市総合戦略に掲げる将来都市像の実現に向け、本年度実施した、4つの施策パッケージの目標に対応する事業及びその他の主要事業は次のとおりです。

【◎＝新規 ☆＝拡大（括弧内の金額は予算現額）】

1 あずましい暮らしプロジェクト

① 商業起業者定住促進事業費 800千円(1,364千円)

・商店街等の空き店舗解消と本市への移住・定住促進を目的に、新規商業起業の研修費用と店舗家賃の一部を助成

〔平成30年度〕助成件数：5件(新規2件、昨年度からの継続分3件)

☆② 既存街路防犯灯LED化推進事業費 11,916千円(18,000千円)

・既存街路防犯灯(ナトリウム灯・無電極灯)をLED灯に改良する場合に費用の一部を助成

〔実施期間〕平成30～令和2年度

〔助成対象〕①LED灯に改良 ②既存灯具又は既存灯具及び支柱の撤去
(同一の街路防犯灯について、①又は②のどちらかを申請)

〔助成率〕90%(電力会社申請入力電力などの内容により上限額あり)

〔平成30年度〕助成件数：30件

③ 建築ストック・リノベーションまちづくり事業費

◇旧寿原邸改修事業費 6,994千円(7,000千円)

・「お試し移住施設の基本設計」に基づき、安全対策や快適性を向上させるため、内装等を改修

◇リノベーションまちづくり交流事業費 4,917千円(6,400千円)

・空き家、空き店舗の活用などに関する公開講座や見学ツアーを実施
・良好空き家について、売買・賃貸等の所有者の意向調査を実施

④ 除雪費 1,467,550千円(1,546,518千円)

・冬季間における円滑な道路交通を確保し、市民の快適な冬の暮らしや市内に関連する経済活動を着実に支えるため、効率的な除排雪を実施

⑤ 住宅エコリフォーム助成事業費 837千円(2,500千円)

・断熱性の向上を目的とした改修等の住宅エコリフォームを対象に工事費の一部を助成

〔平成30年度〕助成件数：7件

⑥〔住宅事業〕既存借上公営住宅事業費 2,664千円(7,520千円)

・既存の民間共同住宅の空き住戸を市が借り上げ、低所得の子育て世帯向けに市営住宅として供給

〔平成30年度〕供給戸数：4戸(昨年度からの継続分4戸)

⑦〔住宅事業〕市営住宅改善事業費 136,254千円(144,800千円)

・「小樽市公共賃貸住宅長寿命化計画」に基づき、老朽化した市営住宅を計画的に改修

◇長寿命化型改善事業費(祝津住宅7・8号棟)

・外壁等改修

◇長寿命化型改善事業費(潮見台A住宅)

・外壁、屋根等改修

⑧〔住宅事業〕公営住宅建替事業費(若竹住宅3号棟) 580,011千円(647,600千円)

・老朽化が進む若竹住宅3号棟の建替えを実施(平成28～30年度)

平成28年度：地質調査・実施設計、解体工事

平成29年度：解体工事、本体工事

平成30年度：本体工事

本体工事費：総額988,975千円(H29：408,964千円、H30：580,011千円)

・平成31年4月供用開始

⑨ 鉄道駅バリアフリー化設備等整備事業費補助金 2,000千円(37,750千円)

(予算現額うち35,000千円は、令和元年度へ繰越)

- ・JR駅のバリアフリー化のため、設備等の整備に要する経費の一部を助成(国1/3、市1/3、事業者1/3)(平成30～令和2年度)
平成30年度：南小樽駅の多目的トイレを整備

◎⑩ 地域公共交通活性化事業費 6,850千円(6,910千円)

- ・持続可能な地域公共交通ネットワークの再構築を目的として、地域公共交通網形成計画を策定(平成30～令和元年度)

◎⑪ 特定空家等住宅除却費助成事業費 2,943千円(3,000千円)

- ・周辺に被害を与えるおそれがある「特定空家等」で、かつ危険度や緊急度が高い「不良住宅」の除却費用の一部を助成
〔助成率〕除却工事費の1/3(限度額30万円)
〔平成30年度〕助成件数：10件

⑫ トイレの洋式化等整備事業費 76,185千円(79,837千円)

- ・多くの市民や観光客等の方に利用される市の施設について、和式トイレの洋式化等の整備を計画的に実施
〔平成30年度〕本庁舎別館、港湾室前、市民会館、市民センター、葬斎場、総合福祉センター、運河公園、築港臨海公園、祝津公衆便所、観光物産プラザ、色内埠頭公園ほか7か所、市民消防防災研修センター、図書館、総合博物館運河館、文学館・美術館、総合体育館

2 樽っ子プライド育成プロジェクト

☆① 保育料軽減関連予算

- ・第3子以降の保育料を完全無料化(平成30年9月から)
- ・保育料の年少扶養控除経過措置を廃止し、当該経過措置廃止により保育料が負

担増になる場合、保育料を減免(平成30年9月から平成31年3月分まで)

◇市立保育所費 131,033千円(139,986千円)

- ・市立保育所：〔歳入〕保育料3,349千円(1,900千円)の減額
(うち無料化分3,159千円、減免分190千円)

◇教育・保育給付費負担金 1,659,461千円(1,659,476千円)

- ・私立保育所：〔歳入〕保育料8,725千円(8,276千円)の減額
(うち無料化分8,361千円、減免分364千円)

・認定こども園・

幼稚園：〔歳出〕教育・保育給付費負担金8,383千円(2,408千円)の増額(保育料減収分)

(うち無料化分7,381千円、減免分1,002千円)

☆② こども医療費助成 180,531千円(186,682千円)

〈道の施策分117,613千円(119,356千円)、市の施策分62,918千円(67,326千円)〉

- ・北海道と市独自の助成制度により、就学前のこども及び小学生の医療費の自己負担分の一部を助成
- ・平成30年8月から助成内容を拡大
市の単独事業として、課税世帯の入院の自己負担(3歳以上小学生以下)について、「1割負担」から「初診時一部負担金のみ」に拡大

☆③ ひとり親家庭等医療助成 67,613千円(81,874千円)

〈道の施策分47,631千円(61,924千円)、市の施策分19,982千円(20,580千円)〉

- ・北海道と市独自の助成制度により、ひとり親家庭等の医療費の自己負担分の一部を助成
- ・平成30年8月から助成内容を拡大
市の単独事業として、課税世帯の入院の自己負担(3歳以上小学生以下)について、「1割負担」から「初診時一部負担金のみ」に拡大

☆④ 重度医療助成 325,028千円(342,457千円)

〈道の施策分324,726千円(342,155千円)、市の施策分302千円(302千円)〉

- ・北海道と市独自の助成制度により、重度心身障害者の医療費の自己負担分の一部を助成
- ・平成30年8月から助成内容を拡大
市の単独事業として、課税世帯の入院の自己負担(3歳以上小学生以下)について、「1割負担」から「初診時一部負担金のみ」に拡大

⑤ 子育て短期支援事業費 167千円(316千円)

- ・保護者等の疾病等により、家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合、児童養護施設で短期間(7日以内)の預かりを実施
- ・平成30年度から、札幌の児童養護施設(1施設)を対象施設に追加

◎⑥ ひとり親家庭等ヘルパー派遣事業費 10千円(222千円)

- ・ひとり親家庭に一時的に家事援助が必要になった際に、ヘルパーを派遣し支援

◎⑦ 子どもの生活実態調査事業費 2,830千円(3,000千円)

- ・市内における子育て世帯の経済状況と子どもの生活環境や学校・家庭での過ごし方などとの関係を具体的に把握することを目的として、アンケートを実施

⑧ 周産期医療支援事業費補助金

- ・北後志5町村と連携して、小樽協会病院の分娩取扱再開に向けた取組等を支援
- | | |
|---------------|--------------------|
| ◇婦人科外来・助産師外来分 | 19,650千円(19,650千円) |
| ◇施設改修・医療機器整備分 | 39,000千円(39,000千円) |

⑨ ファミリーサポートセンター事業費 6,355千円(6,369千円)

- ・地域の中で助け合いながら子育てをする会員制の援助活動事業をNPO法人に委託して実施

⑩ 民間保育施設等整備支援事業費補助金 207,224千円(207,224千円)

- ・いなほ幼稚園の園舎の改築等に要する経費の一部を助成

◎⑪ 保育所等事故防止推進事業費補助金 124千円(157千円)

- ・睡眠時等の事故防止に活用できる備品購入に係る費用の一部を助成
- [平成30年度] 助成件数：3件

◎⑫ 産後ケア事業費 9千円(600千円)

- ・出産後概ね4か月までの、心身の不調又は育児不安等がある母親を対象に、助産師等による日帰り型のケアや育児指導を実施

☆⑬ スクールカウンセラー関係経費 1,794千円(1,828千円)

- ・児童生徒や教師、保護者にカウンセリング等を実施するため、専門的な知識を有するカウンセラーを市教委に配置し、統合校に派遣
- ・平成30年度は、新たな統合校(山の手小学校、奥沢小学校、花園小学校)に拡大

⑭ 語学指導等外国青年招致事業費 27,129千円(27,896千円)

- ・外国人指導助手(A L T)を市内各中学校に隔週で派遣するほか、全小学校の外国語活動等へ派遣

☆⑮ 小学校英語教育推進事業費 1,554千円(1,600千円)

- ・令和2年度からの小3英語教育導入を見据え、小学校の外国語活動に外部講師を派遣
- ・平成30年度は、指定校3校(小学校3・4年生)から全18校(小学校3~6年生)に拡大

- ☆⑩ キャリア教育推進事業費 102千円(300千円)
- ・子どもたちが、将来、社会人・職業人として自立していけるためのキャリア教育を推進
 - ・平成30年度は、「キャリア教育実践指定校」を1校から2校に拡大し、キャリア教育研修講座などを実施
- ☆⑪ コミュニティスクール導入等促進事業費 207千円(350千円)
- ・「学校運営協議会制度」の導入や準備のための研修会等を実施
 - ・平成30年度は、1校(稲穂小学校)が導入
- ☆⑫ 校外学習等助成事業費 8,061千円(8,317千円)
- 〈小学校4,317千円(4,479千円)、中学校3,744千円(3,838千円)〉
- ・学校と地域社会の連携の下、小樽の様々な教育資源を活かした自然体験学習、社会体験活動、文化芸術体験活動を実施
 - ・平成30年度は、新たな取組として、小学校で水難防止教室や小樽港内遊覧屋形船における講話を実施
- ☆⑬ 学校図書館整備費 15,007千円(15,293千円)
- 〈小学校10,123千円(10,353千円)、中学校4,884千円(4,940千円)〉
- ・学校図書の整備のほか、学校図書館活動の活性化と児童生徒の読書習慣の定着を図るため、学校司書を配置
 - ・平成30年度は、司書配置数を拡充(小学校3校→4校、中学校1校)
- ⑭ 児童用机・椅子更新事業費(小学校) 2,331千円(2,400千円)
- 生徒用机・椅子更新事業費(中学校) 1,361千円(1,400千円)
- ・平成27～28年度に実施した現状調査の結果に基づき、劣化の著しい机・椅子を計画的に更新(平成29～令和元年度)
- ⑮ ICT教育促進事業費 2,734千円(3,328千円)
- ・中学校1年生の普通教室に大型テレビを設置(11校25台)
- ◎⑯ 校舎等耐震補強等事業費(幸小学校) 15,422千円(25,000千円)
- ・校舎及び屋内運動場の耐震補強並びに大規模改造を実施(平成30～令和元年度)
 - 平成30年度：実施設計
- ◎⑰ 屋内運動場床改修事業費(朝里小学校) 6,912千円(7,000千円)
- ・屋内運動場の床板の剥離による負傷事故防止のため、劣化した床板を改修
- ⑱ 教育支援活動推進事業費 1,237千円(2,000千円)
- ・学校・家庭・地域が連携して教育に取り組むため、学校及び家庭教育における地域の支援体制づくりを実施
 - ・「学校支援ボランティア」による授業補助や読み聞かせ等を実施
 - ・「おたる地域子ども教室」による土曜日午前中の体育館や図書室等を開放した各種体験教室を実施
 - ・「小樽わくわく共育ネットワーク」による家庭教育講座等を実施
- ⑲ 「樽っ子学校サポート」関係経費 207千円(300千円)
- ・大学生及び高校生等を市内の小中学校へ派遣し、学習支援を実施
 - ・平成30年度は、月1回、生涯学習プラザ「レピオ」での学習会を実施
- ⑳ 子ども読書活動推進事業費 1,869千円(1,900千円)
- ・専門知識を有する職員(司書)を配置し、図書館がセンター的な立場となって家庭、地域、学校における読書活動を推進
 - ・「小樽市子どもの読書活動推進計画」を策定
 - ・保護者やボランティアとの連携による読書活動の推進
 - ・学校図書館支援として学校司書研修会等を開催

- ⑳ スポーツ選手交流事業費 331千円(441千円)
 - ・市内小学校でプロスポーツ選手による出前授業を開催
 - [平成30年度] 実施校：手宮中央小学校、長橋小学校、張碓小学校、銭函小学校
- ☆㉘ おたる運河ロードレース大会実行委員会補助金 2,100千円(2,100千円)
 - ・第30回大会の記念事業として、ゲストランナーの招聘や前夜祭を開催
- ㉙ 手宮公園競技場整備事業費 3,348千円(3,500千円)
 - ・第3種公認陸上競技場として必要な附帯設備(標識タイル)を整備
- ㊀ 総合体育館施設整備事業費 9,399千円(9,400千円)
 - ・小学生のミニバスケットボールにも対応可能な移動式バスケットゴール台(1対)とフィットネスバイク(1台)を整備
- ◎㊁ アイアンホース号整備事業費 13,772千円(14,000千円)
 - ・ガバメントクラウドファンディングを活用し、総合博物館所蔵の蒸気機関車アイアンホース号のボイラーを修繕
- ㊂ 特別展開催経費(文学館) 161千円(200千円)
 - ・開館40周年記念「歌人・小田観螢の生涯」
(平成30年11月3日～平成31年1月20日)
- ㊃ 特別展開催経費(美術館) 1,350千円(1,360千円)
 - I)「小樽画壇の煌き 描きつぐ伝統と発展」 (平成30年6月5日～7月8日)
 - II)中村善策記念ホール開設30周年・没後35年「中村善策と小樽・風景画の系譜」
(平成30年10月27日～平成31年2月24日)
- ㊄ 企画展等開催事業費(美術館) 80千円(172千円)

- ・「小樽・美術家の現在シリーズ 命の脈動 武石英孝展 日常から見えた尊いものたち」 (平成30年4月1日～5月31日)
- ・「絵画のなかの“登場人物” — 小樽ゆかりの画家たち」
(平成31年3月2日～3月31日)

3 にぎわい再生プロジェクト

- ① ふるさと納税関係経費 48,660千円(48,727千円)
 - ・まちづくり施策への賛同者の増加と地域経済の活性化を図るため、一定額以上の寄附者に対して本市特産品を送付
- ② 小樽港クルーズ推進事業費 8,205千円(13,038千円)
 - ・市や国などの行政機関と民間団体で構成される小樽港クルーズ推進協議会によるクルーズ客船誘致活動や歓迎行事の実施などの受入体制の強化
 - [平成30年度] クルーズ客船寄港数：21隻
- ③ 小樽港物流促進プロジェクト事業費 800千円(1,700千円)
 - ・小樽港の物流促進のため、国外ではロシア極東地域及び中国、国内では関東・関西エリアにおける情報収集やポートセールスを実施
- ④ 歩行者案内標識再整備事業費 23,458千円(28,000千円)
 - (平成29年度から繰越)
 - ・外国人などの多様な観光客に対応した多言語表記やユニバーサルデザインを取り入れた歩行者案内標識を整備
 - ・既存標識の表示内容の更新、新規設置(7基)
- ⑤ 観光誘致促進事業費補助金 6,200千円(6,200千円)
 - ・台湾・マレーシア旅行博への出展や国内・道内プロモーション活動などの誘致宣伝活動を実施(小樽観光協会)

- ◎⑥ ロケツーリズムによるシティプロモーション事業費補助金 1,000千円(1,000千円)
- ・映像関係者へのセールスによる映画などの大型撮影の誘致を目指し、ロケとご当地グルメの祭典「全国ふるさと甲子園」に北海道初の出展(小樽フィルムコミッション)
 - ・「小樽産焼ほたて串」でグルメ賞「惣菜・おつまみ部門3位」を獲得
- ⑦ 東アジア圏等観光客誘致広域連携事業費補助金 1,199千円(1,200千円)
- ・ウェブを活用したアジア諸国や英語圏への情報発信、運輸局の富裕層向け招請事業の参画等のプロモーションを実施(小樽国際観光客誘致実行委員会)
- ◎⑧ 「小樽の元気」発信事業費補助金 2,500千円(2,500千円)
- ・北海道胆振東部地震の影響による観光客数の減少に対応するため、国内外に市が観光客の受入れに支障がないことを発信する事業を支援(小樽観光協会)
 - ・観光動画の作成・発信事業、SNSやインターネットによる情報発信事業及びアジア圏のキーパーソン・旅行事業者の招請事業を実施
- ⑨ 日本遺産認定関係経費 810千円(824千円)
- ・日本遺産認定を目指し、シンポジウムの開催や道内外における先進地視察などを実施
- ⑩ 北前船日本遺産推進協議会負担金 500千円(500千円)
- ・平成29年4月に認定された「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」について追加認定を目指し、同協議会へ参加
- ◎⑪ 日本遺産地域活性化事業費 2,470千円(2,476千円)
- ・平成30年5月に、北前船の寄港地として日本遺産に追加認定されたことに伴い、北前船ストーリー船上講座の実施や日本遺産認定記念シンポジウムを開催
- ◎⑫ 小樽地域雇用創造協議会貸付金 15,000千円(15,000千円)
- 小樽地域雇用創造協議会補助金 8千円(100千円)
- ・産業振興施策等との連携の下、厚生労働省の実践型地域雇用創造事業を活用し、地域の企業活動を活性化し雇用創出を目指す協議会の運営を支援
- ⑬ 企業誘致促進事業費 1,617千円(2,000千円)
- ・工場等の立地を検討している三大都市圏や札幌圏の企業への訪問による誘致活動のほか、産業展出展による企業立地PR活動を実施
- ⑭ 海外販路拡大支援事業費 2,828千円(3,650千円)
- ・札幌市等との連携事業による海外商談会・展示会への参加
 - ・海外への販路拡大を目的とした商談会・展示会等への参加費用を補助
 - ・平成30年度は、ベトナムにおいて産学官による市場開拓事業を実施
- ⑮ 「小樽産品」販路拡大支援事業費 3,260千円(3,700千円)
- ・市内食料品製造業者の販路を拡大するため、道外でも通用する商品開発力や商談スキルの向上を図る相談会を実施した上で、首都圏で開催される大規模展示商談会に出展
- ⑯ 創業支援事業費 18,979千円(24,000千円)
- ・新たに創業する方に対し、事業開始にかかる内外装工事費などの費用の一部を補助(事務所等家賃補助、内外装工事費補助、利子補給)
- [平成30年度] 補助件数：20件
- ⑰ 小樽産農産物PR事業費補助金 56千円(84千円)
- ・旬の野菜や果実、加工品等の消費拡大を図るため、直売所で開催されるイベントを活用したPR事業の実施を支援(忍路水車の会)

◎⑱ 浅海増養殖振興対策事業費補助金 158千円(300千円)

- ・水産資源の維持・増大を図るとともにナマコの漁獲量の安定と、漁業者・卸売業者等の所得向上や消費者への安定供給を図るため、ナマコ種苗生産事業を支援(小樽市漁業協同組合)

⑲ 水産物ブランド化推進事業費 2,986千円(3,000千円)

- ・小樽の水産加工品のブランド化や消費拡大を図るため、「小樽水産加工グランプリ」の開催や、受賞商品のPR、商談会出展などを支援
- ・小樽の地魚や水産加工品のホームページ等での情報発信、市内の市場・飲食店・イベントとの連携によるPRや道外の小樽物産展でのPR活動及び魚食普及の親子料理教室などの開催

◎⑳ 重要文化財旧日本郵船(株)小樽支店保存修理工事費 15,680千円(17,400千円)

- ・小樽市を代表する文化遺産である建造物の保存・活用を図るための、耐震補強工事及び保存修理を実施
- ・継続費事業の初年度(平成30～令和3年度)
平成30年度：実施設計

㉑ 歴史文化基本構想策定事業費 3,587千円(7,200千円)

- ・まちづくりと文化財保存の両立を図るため、本市の文化財及び周辺環境を保存・活用する基本方針となる「小樽市歴史文化基本構想」を策定

◎㉒ スウェーデン芸術祭 I N小樽 2018 実行委員会補助金 3,000千円(3,000千円)

- ・スウェーデンのアーティストを迎え、絵画や彫刻、インスタレーションによる現代アート展覧会を開催(平成30年7月21日～9月16日)

4 あんしん絆再生プロジェクト

① 防災関係経費(防災行政無線(同報系)整備事業) 6,745千円(9,000千円)

- ・災害時の避難情報伝達の迅速化及び伝達手段の多重化を図るため防災行政無線を整備(平成29～令和2年度)
平成30年度：実施設計

② 防災関係経費(避難所機能強化事業) 4,655千円(5,300千円)

- ・各避難所に配備している備蓄食料や救急用品の更新

◎③ 防災関係経費(避難所開設経費) 3,693千円(3,700千円)

- ・平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震に伴う市内全域の大規模停電に対応するため、市内8箇所の避難所開設や支援物資などを配給

④ [後期高齢者医療事業] 歯科健康診査事業費 6,154千円(8,597千円)

- ・後期高齢者の口腔機能の低下や誤嚥性肺炎等の疾病予防のため、無料で歯科健診を実施

☆⑤ 健康診査等事業費(各種がん検診費) 47,759千円(50,797千円)

- ・勤務先や加入する健康保険で検診を受ける機会のない方(自営業者、主婦、高齢者等)で、40歳以上の市民を対象とした胃・大腸・肺・乳がん検診、20歳以上の女性を対象とした子宮頸がん検診を実施
- ・平成30年度は、胃がん検診について、50歳以上を対象に胃内視鏡検査を導入

◎⑥ 子宮頸がん自己検査受診事業費 736千円(736千円)

- ・子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルスの感染がないか、自己検査キットによる検査を実施

[対象者]：平成30年度に25・30・35歳になる者のうち、平成26年4月1日から30年7月1日までに子宮頸がん検診を受けていない者

⑦ ふれあいパス事業費 201,056千円(203,500千円)
・70歳以上の市民を対象に「ふれあいパス」(バス乗車証又はJR特殊乗車券)を交付

⑧ 消防団員安全装備品等整備事業費 1,312千円(1,373千円)
・地域における防災体制の強化を図るため、小型消防ポンプを更新

⑨ 機動力増強・近代化事業費 25,420千円(26,000千円)
・資材搬送車及び災害救援車を統合更新し、救助支援車(1台)を導入

◎⑩ 救急業務高度化推進事業費 26,966千円(27,000千円)
・銭函支署に配置している普通救急自動車を高規格救急自動車へ更新配備

◎⑪ (仮称)消防署手宮支署建設事業費 1,480千円(3,700千円)
・「小樽市消防長期構想」に基づき、消防署手宮出張所と高島支所を統合し、新庁舎を建設(平成30～令和2年度)
平成30年度：基本設計

5 その他の主要事業

① 総合計画策定関係経費 753千円(2,700千円)
・令和元年度から始まる次期総合計画を策定
平成30年度：基本構想の策定

② 自治基本条例推進等事業費 234千円(335千円)
・平成26年4月から施行した「小樽市自治基本条例」について、小樽のまちづくりに適しているかの検討に当たり、市民の意識・意向を探るためのフォーラムや検討委員会を開催

◎③ 個別施設計画策定事業費 6,998千円(7,000千円)
・公共施設の集約化や複合化による再編を示す「公共施設再編計画」及び公共施設の適正な維持管理を進める「個別施設計画」を策定(平成30～令和2年度)
平成30年度：再編計画の素案作成

◎④ 中小企業振興会議運営経費 153千円(500千円)
・小樽市中小企業振興基本条例に規定する「施策の基本方針」などの具体化に向けた調査・審議を実施

⑤ 国直轄工事費負担金(港湾施設)
◇北防波堤改良事業費 1,470千円(15,000千円)
・老朽化した防波堤の改良による施設の延命化
平成30年度：根固工(L=24.4m/港外)
※平成30年度全体事業費：10,000千円
(うち市負担1.5/10=1,500千円、前年度精算還付金=30千円)

◇第3号ふ頭岸壁改良事業費 118,333千円(152,540千円)
・老朽化が進んでいる第3号ふ頭の16番岸壁及び17番岸壁を改良
平成30年度：16番岸壁改良 陸上地盤改良工等(L=120m)
※平成30年度全体事業費：351,000千円
(うち市負担1/3=117,000千円、前年度精算追徴金=1,333千円)

◇第3号ふ頭泊地改良事業費 15,393千円(62,157千円)
・岸壁の老朽化対策と合わせて泊地のしゅんせつを行い、大型客船の接岸が可能となるよう施設整備を実施
平成30年度：泊地のしゅんせつ(A=6,200㎡)
※平成30年度全体事業費：102,620千円(うち市負担1.5/10=15,393千円)

⑥ 港湾改修事業費

◇小樽港保安施設改良事業費 1,860千円(120,000千円)

(予算現額うち47,200千円は、令和元年度へ繰越)

- ・国際コンテナふ頭施設及び国際車両航送施設の保安措置に必要な監視装置を改良(平成29～令和3年度)

平成30年度：監視装置価格調査

◎ ◇色内ふ頭老朽化対策事業費 19,300千円(21,119千円)

- ・所要の安定性が確保されていない色内ふ頭護岸の老朽化対策工事を実施(平成30～令和8年度)

平成30年度：地質調査、基本設計、実施設計

※平成30年度全体事業費：56,433千円(うち下水道会計負担分37,133千円)

⑦〔港湾整備事業〕港湾上屋整備事業費 631,500千円(656,036千円)

- ・老朽化により解体した既存上屋の代替機能として、中央ふ頭5番岸壁の後背地に上屋を建設(平成29～30年度)

平成30年度：本体工事

- ・平成31年2月供用開始

◎⑧〔港湾整備事業〕多目的荷役機械延命化対策事業費 29,200千円(30,000千円)

- ・平成15年に設置した多目的荷役機械の延命化対策を実施(平成30年～令和2年度)

平成30年度：健全度調査の実施、維持管理計画の作成

◎⑨〔港湾整備事業〕ひき船建造事業費 326,999千円(330,000千円)

(債務負担行為額〔令和元年度〕324,000千円(324,000千円))

- ・老朽化が著しい現ひき船の後継船を導入(平成30～令和元年度)

平成30年度：建造工事

- ・総額648,000千円(平成30～令和元年度で支払)

⑩ 北しりべし廃棄物処理広域連合負担金 1,312,477千円(1,312,477千円)

- ・北しりべし廃棄物処理広域連合(小樽市、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村)によるごみ焼却施設及びリサイクルプラザの運営に要する経費

☆⑪ 集団資源回収事業費 7,142千円(9,000千円)

- ・集団資源回収を実施した団体に対し、その資源の回収量に応じた奨励金(1kgにつき3円)を交付

- ・平成30年度から、平成27～29年の平均回収実績量(基準量)と比較して増加した回収団体に加算金(基準量を超えた1kgにつき3円)を交付

⑫ 都市公園安全・安心事業費 76,776千円(111,300千円)

- ・老朽化した公園施設の更新を計画的に進め、公園利用者の安全・安心を確保

平成30年度：遊具等の更新(みどり公園ほか5公園)、トイレ等のバリアフリー化(銭函中央公園、平磯公園)

⑬ 小樽公園再整備事業費 21,579千円(30,400千円)

- ・明治26年開園の小樽公園を再整備(平成25～30年度)

平成30年度：見晴台トイレバリアフリー化、園路等整備

◎⑭ 色内埠頭公園立入防止柵設置事業費 4,936千円(5,000千円)

- ・公園利用再開に向けて、立入防止柵を公園周辺に設置し、公園利用者の安全を確保

⑮ 臨時市道整備事業費 303,800千円(348,770千円)

- ・市民生活の安全及び円滑な交通を確保するため道路改良を実施

平成30年度：上町通線ほか11路線

⑩ ロードヒーティング更新事業費 59,547千円(132,926千円)

- ・老朽化したロードヒーティング施設を計画的に更新
平成30年度：千秋通線ほか1路線

⑪ 橋りょう長寿命化事業費 209,312千円(381,700千円)

- ・「小樽市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、橋りょうの修繕等を計画的に実施
平成30年度：[修繕工事] 銭函高架橋ほか1橋
[耐震化工事] 銭函高架橋
[撤去工事] 小樽内橋
[調査設計] 銭函高架橋ほか2橋

⑫ 道路ストック更新事業費 30,781千円(34,320千円)

- ・「小樽市道路ストック修繕更新計画」に基づき、老朽化が進む道路ストック(道路トンネル、舗装、道路附属物、のり面盛土擁壁等)の修繕等を計画的に実施
平成30年度：[舗装改良・道路照明更新] 高商通線ほか2路線
[調査設計] 手宮川通線

⑬ 高速道路周辺道路整備事業費 42,955千円(43,304千円)

- ・北海道横断自動車道余市小樽間の開通に伴い発生する新たな交通需要に対応するため道路を整備(平成28～30年度)
平成30年度：[舗装改良工事] 徳助沢通線
[待機所新設] 餅屋沢通線
[道路改良工事] 長橋線

⑭ 建設機械整備費 32,292千円(42,630千円)

- ・安定的な除雪体制の確保を目的に、除排雪機械を計画的に更新
平成30年度：除雪グレーダ1台増強

◎⑮ 都市計画マスタープラン推進経費 6,169千円(7,000千円)

- ・人口減少や少子高齢化に伴う土地利用のあり方など、本市が抱える都市計画の課題に対応していくため、都市計画マスタープランを改定(平成30～令和元年度)
平成30年度：アンケート調査の実施、全体構想(素案)の策定